

1 学校研究主題

道徳的行為をしようとする内面の力を育てる道徳科の授業の在り方
～道徳的価値観を形成する発問づくりを通して～

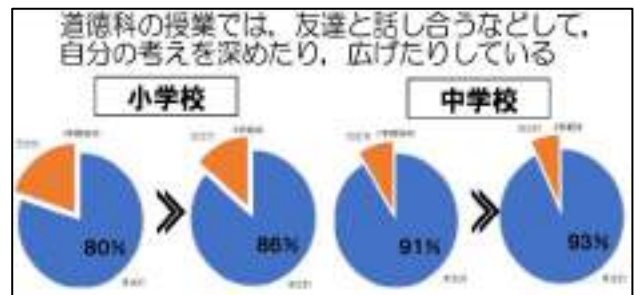
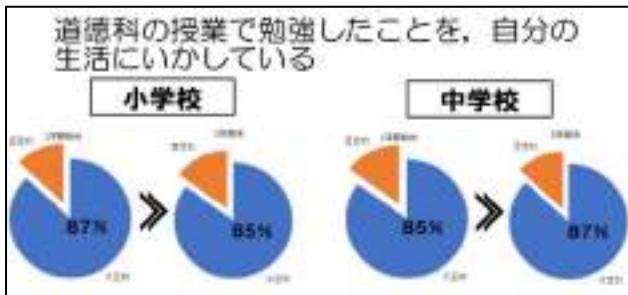
2 主題設定の理由

小方小・中学校では、「特別の教科道徳の指導方針」を、「全ての教育活動を通して行う道徳教育と密接な関連を図りながら、考え、議論する道徳科の学習を通して、物事を多面的・多角的にとらえ、自己の生き方についての考えを深め、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てること」としている。道徳教育推進教師は、年間を通して道徳通信を発行し、道徳教育及び道徳科の基本的な考え方や授業改善のために必要なことなどを小方小・中学校教職員に伝えている。さらに、広島県教育委員会や大竹市教育員会主催研修で学んだことを還元し、全教職員で小方小・中学校の道徳教育の重点目標である「思いやりの心を育み、望ましい人間関係を築く」ことができるよう取り組んでいる。

研究1年目の昨年度は、児童・生徒の道徳的行為をしようとする内面の力がどのように育っているかを調査、分析し、取組の検証を行った。

また、施設一体型の小中一貫教育校であるという特徴を生かし、校内研修を小中合同で行い、9年間の発達段階を見通した指導内容や指導方法の検討を行った。

その結果、道徳的行為をしようとする内面の力については、児童・生徒を対象とした道徳教育に関する意識調査アンケートにおいて、小中共に一定の上昇が見られた。結果を以下に示す。小学校の中でも高学年ほど上昇する傾向にあったことから、学年が上がるほど内面の力が育っていると考えられる。



教師を対象とした意識調査アンケートにおいては全ての項目で上昇が見られた。児童・生徒の道徳的行為をしようとする内面の力を育てるためにどのような授業をするとよいか、道徳教育推進リーダーを交えて学年で毎週授業の検討を行ってきた結果が表れていると言える。

- | | | |
|---|--------------|--------------|
| 1 児童生徒にとって道徳科の授業が楽しい時間となるよう工夫をしている | 小 74% → 100% | 中 71% → 92% |
| 2 児童生徒にとって道徳科の授業がためになる時間となっている | 小 70% → 100% | 中 85% → 92% |
| 3 道徳科の授業では、児童生徒が自分のことを振り返りながら考えるような指導の工夫をしている | 小 63% → 96% | 中 85% → 100% |

研究2年目である今年度は、昨年度の取組に加え、各学年で年1回程度、道徳プログラムを作成し、他教科との関連を意識しながら、児童生徒の発達の段階に応じて道徳的価値観の形成を目指していく。道徳的価値の理解を基に、自己を見つめ、物事を多角的・多面的に考えさせる発問づくりを充実させることによって、児童生徒の道徳的行為をしようとする内面の力を育てる。また、公開研究会を行い、大竹市及び広島県の小・中学校へ成果の普及を図る。

3 研究仮説

道徳科の授業において、道徳的価値観を形成する発問をすれば、児童生徒に道徳的行為をしようとする内面の力を育てることができるであろう。

*道徳教育推進リーダーは、TTで小学校・中学校の授業を行い、「道徳的価値観を形成する発問づくりが適切に行われているか」「道徳的行為をしようとする内面の力を育てる授業になっているか」を評価、分析し、フィードバックしながら組織的な取組としていく。

4 研究内容及び取組

(1) 道徳的価値観を形成する発問づくり

①授業前の協議

・道徳教育推進リーダーと学級担任は、授業までに「道徳的価値の理解、教材分析、主題解釈、教材解釈、中心発問、基本発問、補助発問」等について、協議を行う。

②TTの授業形態

・実際の授業において、学級担任がT1として中心となって授業を進め、T2の道徳教育推進リーダーと分担・協力して、個々の児童生徒の学習状況の把握及び対応を行う。

・児童生徒に道徳的価値観を形成するため、道徳的価値の理解を基に自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考えさせる中心発問や基本発問、補助発問を行う。

③道徳学習プログラムの作成・実践

・重点項目に関わる道徳の授業を中心に、他教科との関連を教師も子供も意識できるプログラムを作成する。

(2) 教師の9年間での発達段階に応じた道徳的価値への理解

①小中共通の重点内容項目の設定

重点内容項目

- 主として人とのかかわりに関すること
- 主として集団や社会のかかわりに関すること

②9年間を見通した児童生徒の意識・行動の変容を図るためのカリキュラム・マネジメントの充実

(3) 道徳的行為をしようとする内面の力を育てる道徳科の授業の在り方に係わる仮説・検証

①授業後の分析・評価

- ・授業後には、「中心発問や基本発問、補助発問は適切であったか」、「道徳的行為をしようとする内面の力を育てる授業であったか」等を学級担任と道徳教育推進リーダーとで分析、評価を行う。

②実態調査

- ・児童生徒、教師へのアンケートにより実態調査をする。(4月、7月、12月)

(4) 授業公開や研究発表の実施

- ・小中学校合同研修（研究授業・協議）を年3回行う。
- ・道徳教育推進拠点地域事業に係る研究授業を行う。
- ・公開研究会で小学校3クラス、中学校1クラス授業を公開する。

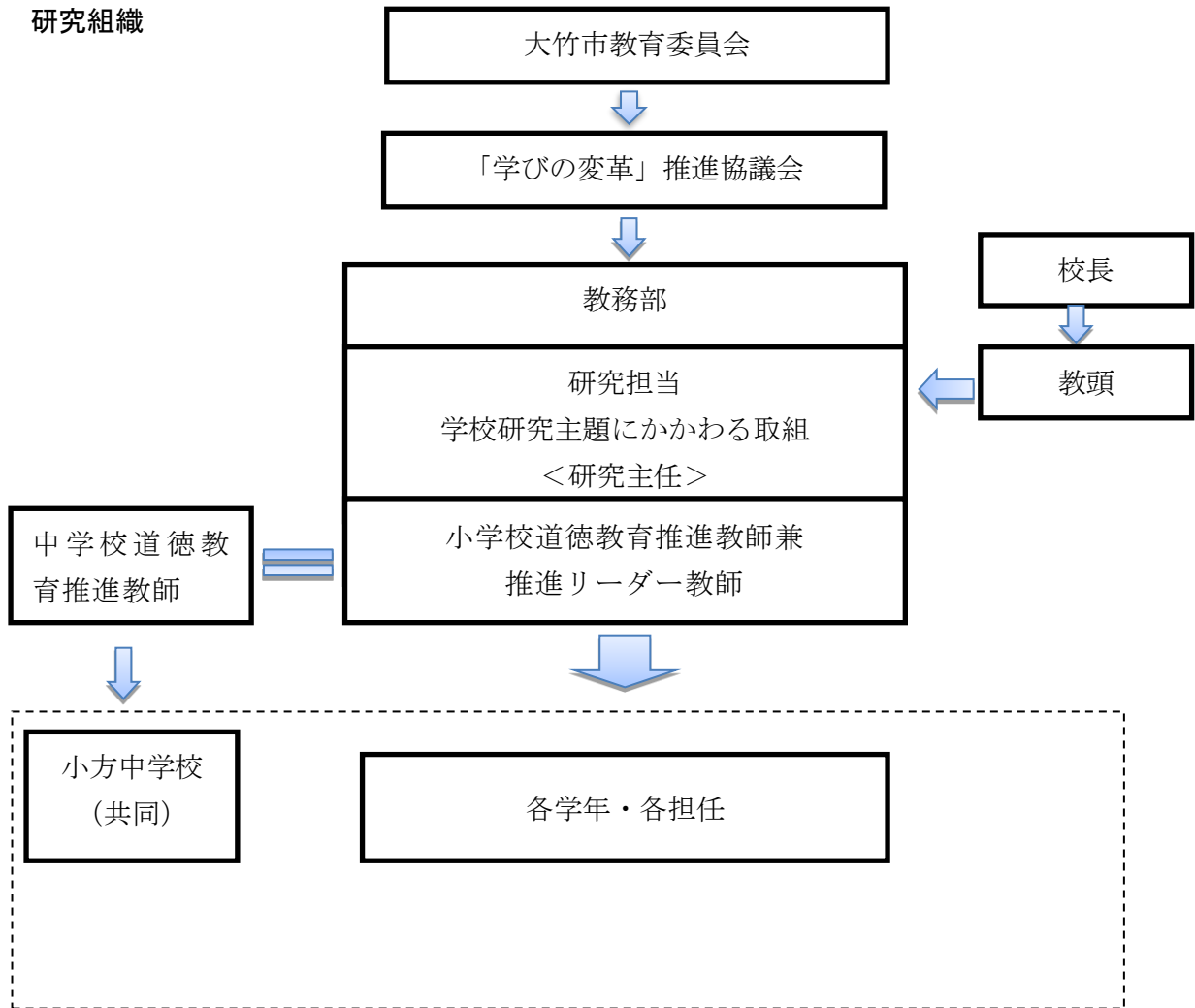
5 めざす子どもの姿

○道徳科の授業で、自分と教材を結び付けて考え、道徳的行為をしようとする内面の力が育っている子。

6 検証計画

指標	達成目標	検証時期	検証方法
教師アンケート	評価の向上	1 2月	評価の推移 (4・7・12月)
児童生徒アンケート	評価の向上	1 2月	評価の推移 (4・7・12月)

7 研究組織



8 研究構想図

